

ひらの ふざん 常設展示 平野富山 —清水が生んだ彩色木彫の名匠

於：静岡市清水文化会館マリナート ※写真撮影はご遠慮下さい。

テーマ：人形研究団体での研鑽

令和7年3月～6月 ※月曜休館

今期は、平野富山の初期の足跡に注目します。富山が人形師・池野哲仙に入門した昭和3年、人形研究団体の嚆矢とされる白澤会が気鋭の^{はくたくかい}人形作家らにより結成されます。哲仙も属した同会は人形の芸術的確立という目的を掲げ活動を展開したのち、日本人形社へと移行します。

さて富山は、昭和12年から昭和16年まで鍔国の名で同会に参加します。この日本人形社時代の作品として、昭和13年の日本人形社展第3回展出品作、または同型と考えられる《八重垣姫》(no.2)は、白地の衣装の紗綾形文様に菊の花、黒地帯の花丸紋などの彩色が可憐で華やかな作品です。姫の髪飾りや手に持った兜の細工も精緻で、富山初期の意欲作と言えます。また、浮世絵の美人画のような細長の姿態が美しい《おぼろ夜》(no.3)は、昭和14年に日本人形社12名による合作で白耳義国際人形展の事前国内展示会に出品したうち、富山が担当した1点と考えられています。残念ながら欧州の事態急変で現地への発送は中止されましたが、国際展出品という晴れ舞台に心を砕いた優品です。本展ではそのほか、富山晩年の《おさな心》(no.5)をご紹介します。初期の人形作品から、彫刻へと変遷を遂げた富山の彩色木彫の魅力をお楽しみください。

【出品リスト】 ※仮題は〔 〕で記載

作家名	作品名	制作年	材質	所蔵
1 平野富山	〔無題〕	昭和時代初期～昭和30年代後半	木、彩色	静岡市
2 平野富山	八重垣姫	昭和13年頃～昭和30年代後半	木、彩色	静岡市
3 平野富山	おぼろ夜	昭和14年頃	木、彩色	静岡市
4 平野富山	筒井筒	昭和40年代前半～51年頃	木、彩色	静岡市
5 平野富山	おさな心	昭和59年頃	木、彩色	静岡市
6 平野富山	楽園 ※原型は第7回新日展出品作	昭和39年 ※FRPは没後制作	FRP	静岡市

■のぞきケース

作品名	制作年代	材質	所蔵
7 青花花鳥図皿	明時代末期	磁器	静岡市 / 平野富山コレクション
8 呉須赤絵赤玉文合子	明時代後期	磁器	静岡市 / 平野富山コレクション
9 色絵龍文皿	江戸時代中期	磁器	静岡市 / 平野富山コレクション